

(写真はイメージ)



# 医者も知らない平穏死



連載⑯

(長尾和宏) 長尾  
クリニック院長  
日本尊厳死協会副  
理事長。著書に

「平穏死」10の  
条件」など。

自宅での療養なら、1

高齢の方ならなおさら  
で、1回の入院でも寝た

きりになる可能性が高い  
でしょう。

「親戚から『なんで入院させへんのや!』と散々言われたんですが、頑張りましたよ。『おかあちゃんの希望だから』って

母さんを、息子さんはすぐ病院へ連れて行こうとしたそうです。

（でも）かあちゃんは、  
やんの希望から、  
へん尾先生、呼んで来  
て。病院なんか行つた

言ひ張りました」  
こんなふうに話すの  
は、Tさん。彼のお母さ  
ん（当時93歳）は近所を  
散歩している途中、よろ

Tさんからの電話を受  
けて転倒し、腰椎圧迫骨折をおこしました。

「腰が痛い！」というお  
生、ウチは絶対に病院に  
入院するまでに認

めて私が駆けつけたとき  
も、お母さんは「長尾先  
生、お母さんは『腰が痛  
い』って、寝た

お母さんは、骨折から  
3年後、96歳で眠るよう  
に亡くなりました。最

後まで好きな散歩を楽し  
ました。

（転倒→骨折→入院）を  
2回繰り返すと、どんな  
にお元気な方でも認知症  
の症状が出てきます。お

母さんのような90代のご  
かは分かりません。  
（転倒→骨折→入院）を  
2回繰り返すと、どんな  
にお元気な方でも認知症  
たら……。その後人生